

(別紙) 業務用冷凍空調機器からのフロン類回収量集計結果の詳細

1. 背景

- ① フロン回収・破壊法（「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」）によって、業務用冷凍空調機器（業務用エアコン及び業務用冷凍・冷蔵機器）の廃棄時等及び整備時において、冷媒として使用されているフロン類の回収が義務付けられています。
- ② 同法により、第一種フロン類回収業者（業務用冷凍空調機器から冷媒フロン類を回収するため都道府県知事に登録している者）は、前年度に回収したフロン類の量等を都道府県知事に毎年度報告し、都道府県知事はその報告に係る事項を主務大臣（環境大臣及び経済産業大臣）に通知しなければならないこととされています。主務大臣は、この通知事項等を整理して特定製品に係るフロン類の回収の状況等の情報を公表することとされており、今回の公表はこの規定に基づくものです。
- ③ なお、平成 19 年 10 月 1 日に改正フロン回収・破壊法が施行され、新たにこれら製品の整備時におけるフロン類回収義務・報告義務が明確化されたほか、行程管理制度の導入等により業務用冷凍空調機器の廃棄時等における回収強化策が導入されています。

2. 平成 20 年度のフロン類回収量、前年度との比較、フロン種類別の実績（表）

表 1 第一種フロン類回収業者による回収量等（平成 20 年度）

		C F C	H C F C	H F C	合計
合計	回収した第一種特定製品数 (台)	104,130	685,974	447,374	1,237,478
	回収量 (kg)	290,159	2,814,431	668,777	3,773,367
	20 年度当初の保管量 (kg)	29,745	134,456	38,084	202,285
	破壊業者に引き渡された量 (kg)	202,592	2,300,123	521,525	3,024,240
	再利用等された量 (kg)	90,460	510,677	135,311	736,449
	20 年度末の保管量 (kg)	26,846	138,085	50,027	214,957
廃棄時等	回収した第一種特定製品数 (台)	98,197	550,569	338,175	986,941
	回収量 (kg)	197,281	1,879,404	199,359	2,276,044
	20 年度当初の保管量 (kg)	22,950	88,214	12,037	123,201
	破壊業者に引き渡された量 (kg)	185,752	1,632,704	172,701	1,991,158
	再利用等された量 (kg)	14,828	249,984	24,879	289,691
	20 年度末の保管量 (kg)	19,642	84,929	13,817	118,388

整備時	回収した第一種特定製品数 (台)	5,933	135,405	109,199	250,537
	回収量 (kg)	92,879	935,027	469,417	1,497,323
	20年度当初の保管量 (kg)	6,794	46,243	26,047	79,084
	破壊業者に引き渡された量 (kg)	16,840	667,419	348,824	1,033,082
	再利用等された量 (kg)	75,632	260,694	110,432	446,758
	20年度末の保管量 (kg)	7,203	53,156	36,210	96,569

注1 CFC：クロロフルオロカーボン

HCFC：ハイドロクロロフルオロカーボン

HFC：ハイドロフルオロカーボン

注2 小数点第一位を四捨五入したため、数値の和は必ずしも合計欄の値に一致しない（以下同じ）。

注3 廃棄時等には、機器の再資源化時を含む（以下同じ）。

注4 再利用等された量は、フロン類回収業者が自ら再利用した量、及びフロン類を再利用する者又はフロン類破壊業者に確実に引き渡す者として都道府県知事が認める者に引き渡された量の合計（以下同じ）。

表2 フロン類回収量等の前年度との比較

		平成19年度	平成20年度	増減（増減率）
合計	回収した第一種特定製品数 (台)	1,032,635	1,237,478	204,843 ( 19.8 %)
	回収量 (kg)	3,168,357	3,773,367	605,010 ( 19.1 %)
	年度当初の保管量 (kg)	148,313	202,285	53,972 ( 36.4 %)
	破壊業者に引き渡された量 (kg)	2,378,053	3,024,240	646,187 ( 27.2 %)
	再利用等された量 (kg)	729,368	736,449	7,081 ( 1.0 %)
	年度末の保管量 (kg)	209,253	214,957	5,704 ( 2.7 %)
廃棄時等	回収した第一種特定製品数 (台)	900,539	986,941	86,402 ( 9.6 %)
	回収量 (kg)	2,273,274	2,276,044	2,770 ( 0.1 %)
	年度当初の保管量 (kg)	148,313	123,201	-25,112 ( -16.9 %)
	破壊業者に引き渡された量 (kg)	1,891,440	1,991,158	99,718 ( 5.3 %)
	再利用等された量 (kg)	392,409	289,691	-102,718 ( -26.2 %)
	年度末の保管量 (kg)	137,740	118,388	-19,352 ( -14.0 %)
整備時	回収した第一種特定製品数 (台)	132,096	250,537	118,441 ( 89.7 %)
	回収量 (kg)	895,083	1,497,323	602,240 ( 67.3 %)
	年度当初の保管量 (kg)	0	79,084	79,084 ( - %)
	破壊業者に引き渡された量 (kg)	486,613	1,033,082	546,469 ( 112.3 %)
	再利用等された量 (kg)	336,959	446,758	109,799 ( 32.6 %)
	年度末の保管量 (kg)	71,512	96,569	25,057 ( 35.0 %)

表3 フロン類の種類別の台数及び回収量の前年度比較

		C F C		H C F C		H F C	
		台数 (台)	回収量 (kg)	台数 (台)	回収量 (kg)	台数 (台)	回収量 (kg)
合計	平成 19 年度 (構成比率)	104,096 (10.1%)	342,351 (10.8%)	667,412 (64.6%)	2,404,315 (75.9%)	261,127 (25.3%)	421,691 (13.3%)
	平成 20 年度 (構成比率)	104,130 (8.4%)	290,159 (7.7%)	685,974 (55.4%)	2,814,431 (74.6%)	447,374 (36.2%)	668,777 (17.7%)
	増減	34	-52,192	18,562	410,116	186,247	247,086
廃棄時等	平成 19 年度 (構成比率)	98,635 (11.0%)	241,084 (10.6%)	587,573 (65.2%)	1,846,502 (81.2%)	214,331 (23.8%)	185,688 (8.2%)
	平成 20 年度 (構成比率)	98,197 (7.9%)	197,281 (5.2%)	550,569 (44.5%)	1,879,404 (49.8%)	338,175 (27.3%)	199,359 (5.3%)
	増減	-438	-43,803	-37,004	32,902	123,844	13,671
整備時	平成 19 年度 (構成比率)	5,461 (4.1%)	101,268 (11.3%)	79,839 (60.4%)	557,812 (62.3%)	46,796 (35.4%)	236,003 (26.4%)
	平成 20 年度 (構成比率)	5,933 (0.5%)	92,879 (2.5%)	135,405 (10.9%)	935,027 (24.8%)	109,199 (8.8%)	469,417 (12.4%)
	増減	472	-8,389	55,566	377,215	62,403	233,414

(参考) 廃棄時等の回収率について

業務用冷凍空調機器の廃棄時等における冷媒フロン類の回収率は、機器の年度別出荷台数、経年別廃棄台数割合、フロン類初期充填量等から廃棄時残存冷媒量を推計し、これと廃棄時等回収量との比率で算定されます。

また、経済産業省による業務用冷凍空調機器の使用時排出係数及び経年別廃棄台数割合の本年3月の見直しに伴い、廃棄時残存冷媒量の推計方法が昨年度までのものから大幅に変更されています。

(平成20年度の廃棄時残存冷媒量は約8,154トンと推計され、同年度の廃棄時等回収量は約2,276トンであることから、フロン類の廃棄時等回収率は約28%と推定されます。)

なお、廃棄時残存冷媒量の推定方法の変更を受けて、昨年度以前の回収率についても再度推計がされています(参考1参照)。

※ 整備については、要整備機器台数や整備対象機器の含有冷媒量の推計が困難なため回収率は算定されていません。

参考1 フロン類廃棄時回収率の推移（見直し前後の比較）

	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度
見直し前 (昨年度以前の公表値)	—	28%	31%	32%	36%	32%	—
今回見直し後の値	35%	29%	30%	31%	32%	27%	28%

参考2 回収量の推移 (単位：t)

	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度
廃棄時等回収量	1,958	1,889	2,102	2,298	2,542	2,273	2,276
整備時回収量	—	—	—	—	—	895	1,497
合計	1,958	1,889	2,102	2,298	2,542	3,168	3,773